

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | 多機能型重症児デイサービス Cuole城南 | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 2月 1日 | | R8年 3月 6日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16 | (回答者数) 15 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 2月 1日 | | R8年 3月 6日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 9日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 重症児及び医療的ケア児の方をご利用対象としているため各専門職を揃え、多職種連携を行っており、それぞれの専門的な視点での支援目標、支援内容検討、その実践に向けて各専門職の介入が可能である。 | 看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、児童指導員を配置しており、医療職、福祉職それぞれの各専門分野に特化した見解、介入を行っている。本人主体の支援となるよう支援内容を工夫しながら最善の支援を提供できるよう取り組んでいる。 | 各専門職の知識や意見を出し合いながら評価、検討、プランの見直しを行い、連携の強化を図っていく。 |
| 2 | Crutoグループ全体での連携体制が出来ており臨時的な対応が可能で、事業所の運営を安定させることが出来ている。また、各サービスの連携がスムーズとなるため情報共有を有効に行うことができる。系列施設との交流や合同イベントを開催しより満足度の高い支援の提供が可能である。 | 必要に応じてcruto訪問看護を併用しており、利用受け入れに影響を及ぼすことがないよう体制を工夫したり、社内システム上で情報共有を行いより充実した支援ができるよう取り組んでいる。 | 社内システムの改良により更に充実した情報共有ができること期待しており、活用しながら連携を図り、より安定した事業所運営を目指していく。 |
| 3 | 多機能型として定員7名に対し人員配置を十分にを行い、充実した支援を行えるよう取り組んでいる。また定員に対し十分なスペースを確保しており長期休み等ご利用児が多い日も安全に過ごしていただくことができる。 | 児童発達支援から放課後等デイサービスまで継続した利用が可能となるため長期的に同じ環境で安心して過ごしていただくことができる。利用児に合わせて一人ひとりのスペースを十分に確保し支援内容によって部屋を使い分けている。 | 今後、利用児増加時においても十分な人員配置、スペースの確保ができるよう取り組みを継続していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により保護者同士で交流する機会を設ける等の支援が不十分であること。 | 感染症流行を回避し開催を検討していたが日程調整の困難さより企画できないままとなっていた。 | 保護者会(茶話会)開催に向けてご希望の内容、日程をお伺いし可能な範囲で参加を募っていく。 |
| 2 | きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられなかったこと。 | 各ご家庭の予定に合わせて開催を検討していたが、日程調整の困難さによって企画できないままとなっていた。 | 保護者のみに限らず、ご兄弟同士の交流イベント企画を行い、交流できる機会を設けていく。 |
| 3 | 家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)を各ご家庭それぞれに実施する機会が設けられなかったこと。 | 必要に応じてご提案し対応したが、全ご家庭を対象とした支援は未実施となった。 | 各ご家庭のご意見を伺い、ご希望があればご家族等も参加できる企画を行う。 |